



いつもの暮らしが、もしもの力に

ふじBousai 2026



ふじBousaiは、こどもから大人まで、幅広い世代が楽しみながら「学び」・「体験」できる防災イベントです。

とき／11月21日(土) 10～15時
ところ／ふじさんめつせ

ステージイベント／

演題／

「フェーズフリー」で自宅を最強の避難所にする方法



講師／奥村奈津美さん(防災アナウンサー・環境省アンバサダー)

出展内容／

- ・能登半島地震などで活躍したトイレトレーラーなど、災害時に活躍する特殊車両の展示
- ・地震体験車
- ・災害体験VR
- ・応急手当の方法
- ・家庭や職場で使える防災用品の販売
- ・キッチンカー

フェーズフリーって何？

日常と非常時を分けずに、日常的に利用している物やサービスを、そのまま非常時にも利用できるという考え方です。



日常

非常時

非常時のためだけの備えを続けることは難しい
→日常で使っている物を、災害時にも利用する



▲ガリバーマップ



▲備蓄品紹介



▲AED 体験



▲地震体験車

問合せ

防災危機管理課

☎0545(55)2715 FAX0545(51)2040

E bousai@div.city.fuji-shizuoka.jp



▲詳しくはこちら

お知らせ

募集

講座・イベント

発見！

となりの活躍市民

問合せ

市民活躍・男女共同参画課 ☎0545-55-2701

私たちの暮らしの身近には、まちをよりよくするために、あらゆる分野で市民活動に携わっている人がいます。このコーナーでは、まちのために活躍している皆さんを紹介いたします。今回紹介するのは、高校生中心の防災・災害支援団体「YIDRT」代表の米山 昊来さんです。

高校生がつなぐ防災のバトン

「YIDRT」は、県内の高校生を中心に、医療行為を行えない人でもできる「災害応急支援」や「防災活動」を学び、地域へ還元することを目指して活動している団体です。

設立のきっかけは、高校2年生のときに参加した東北ス泰迪ツアーでした。被災地で生の声を聞き、「思いを抱くだけで終わらせず、自ら行動を起こさなければならぬ」と痛感し、今年の1月に3人で活動を始めました。私たちは東日本大震災の記憶を持つ「最後の世代」です。だからこそ、「命を守る」「人と人とのつながりを大切にする」という教訓を、次の世代や地域へつないでいく責任があると考えています。

現在は仲間が16人に増え、「何もできない」ではなく、「今できることを共に学び、備える」をモットーに活動しています。具体的には、独自に開発した防災ゲーム「D-MISSION」を用いたワークショップや、こどもたちが主体的に学べる講座などを展開しています。

防災を「難しいもの」と捉えず、誰もが楽しく備え、いざというときに助け合える基盤を、高校生の視点からより多くの人に広げていきたいですね。

市民活動に関するご相談はこちらへ



代表の米山 昊来さん

詳しくはこちら

富士市民活動センター コミュニティ
吉原21020 ラクロス吉原2階
☎0545(57)1221 FAX0545(57)1091

